

平成26年3月25日
九州地方整備局
佐賀国道事務所

記者発表資料

厳木バイパス（おうちながへた相知長部田IC～いわや岩屋IC） 開通後の交通状況等について【速報】

九州地方整備局佐賀国道事務所が整備を進めてきた厳木バイパス（相知長部田IC～岩屋IC間）の延長2.1kmが平成26年3月1日（土）の15時30分に開通しました。

今回、開通直後の交通状況等について調査を実施したので速報としてお知らせします。

【交通量調査結果：別紙－1参照】

○今回開通区間の交通量は12時間あたり6,677台であり、今回開通区間に並行する国道203号で交通量が12時間あたり4,911台減少、
また、県道山崎町切線で12時間あたり892台減少

○今回の開通により厳木バイパスが国道203号と直結したことで
既開通区間の交通量が12時間あたり2,722台増加

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所
TEL：0952-32-1151（代表）



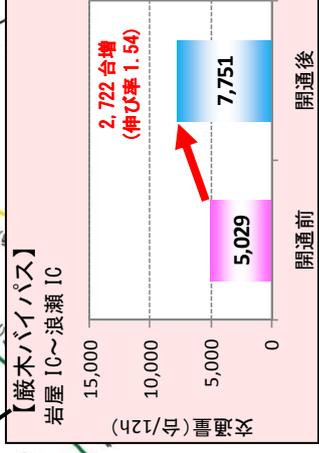
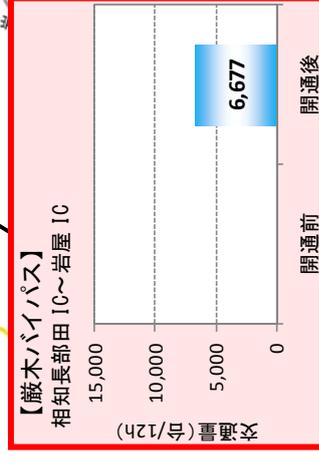
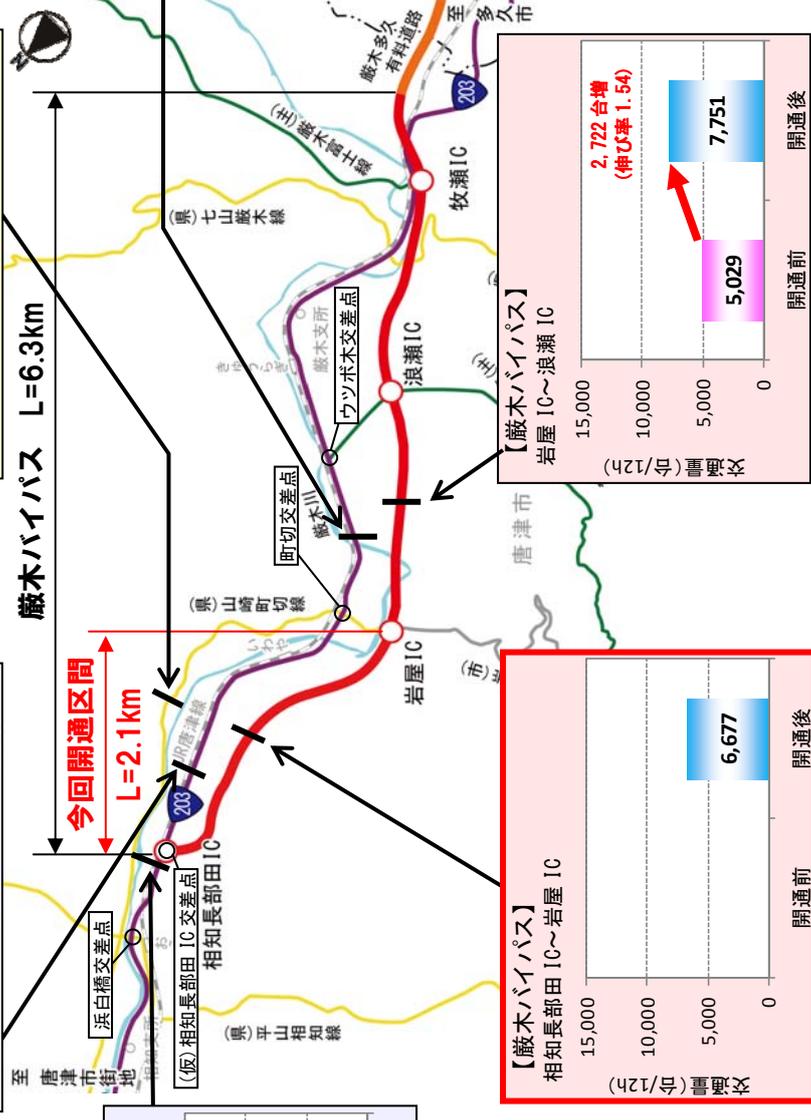
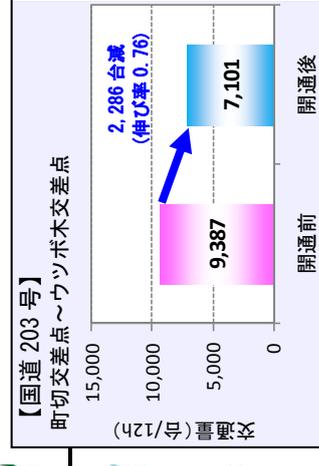
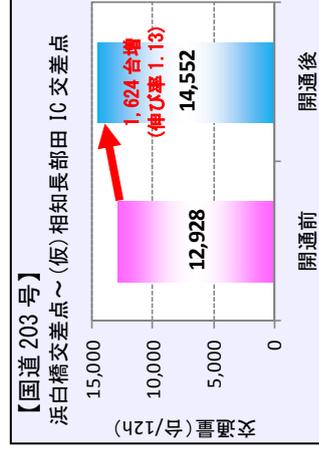
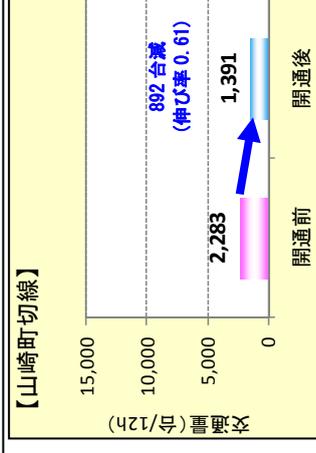
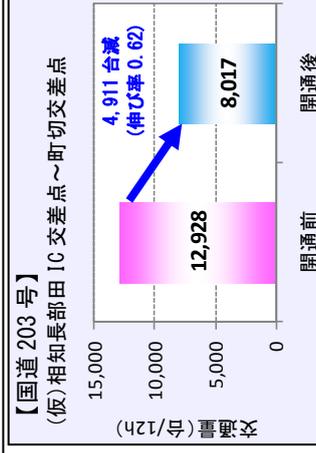
技術副所長 甲斐 浩己（内線204）

計画課長 松尾 佳久（内線261）

今回開通区間周辺の交通状況

[別紙-1]

- 今回開通区間（相知長部田 IC～岩屋 IC）の交通量は、12時間あたり6,677台であり、並行する国道203号で、交通量が12時間あたり4,911台減少、（県）山崎町切線では12時間あたり892台減少しています。
- 蔵木バイパス全線開通により、既開通区間でバイパス利用交通量が12時間あたり2,722台増加しています。



<凡例>
↑ : 増加
↑ : 減少

【調査日】開通前：H26.2.20（木）、開通後：H26.3.11（火）